

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 1 区分
【発行日】 令和 6 年 3 月 6 日(2024.3.6)

【国際公開番号】 WO2022/201589
【出願番号】 特願 2023-508437(P2023-508437)
【国際特許分類】
H 0 1 R 13/24(2006.01)
H 0 1 R 13/11(2006.01)
【F I】
H 0 1 R 13/24
H 0 1 R 13/11 C

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 4 年 6 月 6 日(2022.6.6)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

第 1 の端子金具と、前記第 1 の端子金具を保持するケースとを含む第 1 の端子モジュールと、接点を有する第 2 の端子金具と、前記第 2 の端子金具の前記接点を撓み変形不能に支持するハウジングブロックとを含む第 2 の端子モジュールと、を備える突き当て型のコネクタペアであって、

前記第 1 の端子モジュールの前記ケースは、前記第 2 の端子金具の前記接点が組付け方向に進入する開口と、前記開口から進入した前記接点を収容する空所と、を有しており、

前記第 1 の端子金具は、前記ケースに固定される固定部と、前記固定部から前記開口側に片持ち梁状に突出して前記空所内に撓み変形可能に収容された板ばね部と、を有し、

30

前記板ばね部は、前記固定部から前記開口に向かって延び出す基端部と、前記基端部から前記基端部の板厚方向の一方側に向かって延び出す先端部と、前記先端部に設けられた接点部とを有し、

前記第 2 の端子モジュールの前記ハウジングブロックと、前記第 1 の端子モジュールの前記ケースとを前記組付け方向に直線的に組み付けるときに、前記第 1 の端子金具の前記接点部は、前記ハウジングブロックに撓み変形不能に支持された前記接点に押圧され、前記板ばね部の撓み変形により前記固定部側と前記板厚方向の前記一方側とに変位量だけ変位する、突き当て型のコネクタペア。

【請求項 2】

前記板ばね部の前記基端部が、前記開口に向かうにつれて前記板厚方向の前記一方側に向かう湾曲状部を介して前記先端部に連結されている、請求項 1 に記載の突き当て型のコネクタペア。

40

【請求項 3】

前記板ばね部の前記基端部が、前記板厚方向の前記一方側に屈曲する屈曲部を有し、前記屈曲部よりも前記先端部側が前記板厚方向の前記一方側に向かって傾斜している、請求項 1 または請求項 2 に記載の突き当て型のコネクタペア。

50